

社会福祉法人 神港園

令和6年度 第三者委員会議事録

日時： 令和7年5月8日（木） 14:00～16:15
場所： さん舞子神港園ケアハウス3階多目的室
出席者： 琴浦圭子委員 南 誠二委員 水間一彦委員 高谷雅子会長 高谷明理事長
西区拠点（養護・シルビア） 久保施設長、宮山副施設長
しあわせの家 前田施設長代行、鷺尾副施設長
須磨拠点（白川・妙法寺） 明田施設長、太田副施設長
舞子拠点（ケアハウス・いこいの家） 亀岡施設長、高屋副施設長
西宮拠点（レインボー・酒蔵通り） 金谷施設長
保育園 清水チーフリーダー
本部 船江事業部長、田中人事課長、坂尻

1. 施設報告（苦情・要望・事故・虐待疑いの事例およびカスタマーハラスメント）

高谷理事長：施設運営が年々難しくなっている中、苦情要望、事故、人権に関わる虐待の疑いなど多岐にわたる課題に向き合う必要があります。各拠点から令和6年度の状況について報告を行い、法人内での情報共有を図ります。また、委員からの客観的な意見をいただき、法人の対応水準を向上させたいと思います。カスタマーハラスメント問題への対応も新たなテーマとして取り上げていきます。

2. 質疑応答

琴浦委員：全体を言わせていただいて 昨年度よりも随分と大きな事故が減って落ち着いた一年だったというような印象を受け取りました。

南委員：一年間通して、事故防止やいろいろな方針を立てておられると思いますが、各施設が持つ危険性や、各施設のケアの状況が解り、それぞれの方針あるいは対策を立てておられる点がすごく良いなと思っておりました。カスタマーハラスメントに関しては、ここに挙げられているのは、なかなか強烈な事例だったかと思います。

水間委員：施設が新たにオープンされた話ですけれども、中堅職員がある程度異動して全体的な体制を整えている中で厳しい報告もありました。新たな施設ができて職員全体の調整をする中でどうしても中堅職員が薄くなっていくという施設が出て来るのではないかと、過去の私の経験上感じるところがありました。その辺のところについて実際どうだったのか。それから、これから見込まれることなどに対しての対応のあり方みたいなことは どういうふうにされたのでしょうか。

◎新施設オープンに伴う職員体制の変化について

中核職員の異動により、既存施設の体制が薄くなる懸念があります。新規採用や外部からの経験者採用で対応していますが、神港園のスピリッツの浸透に課題があります。チームビルディングや神港園の理念の共有に注力しています。

◎夜間帯の職員の休憩取得について

労働基準監督署からの改善命令に対応するため、休憩取得方法を検討中です。グループホームでの一人夜勤体制下での休憩取得が課題です。見守りセンサーの活用や休憩時間の分割など、様々な方法を検討中です。

法令上の休憩の取り方：労働基準法に基づき、休憩は業務時間の途中で取得する必要があります。始業直後・終業直前に休憩を配置するのは原則認められません。例：始業＝休憩、終業直前＝休憩、は NG。

精神的・業務的な負担：一人夜勤での休憩取得が困難な状況は職員の心身への負担が大きく、事故時の責任問題への不安もあります。分割休憩は認められるが、始業・終業直前の時間帯の休憩配置は避けるべきです。一時的に業務に戻る形で休憩を分散取得するケースもあります。

◎転倒・骨折事故の防止策について

個室内での動線確保や福祉用具の適切な配置など、環境整備を実施しています。ICT 機器やロボット技術の導入を検討しているが、施設の構造上の制約もあります。マンパワーの確保と適切な配置も重要な課題です。

3. その他

特になし

高谷会長：第三者委員会の重要性を再確認しました。委員からの貴重な意見を持ち帰り、より良い運営につなげていきます。骨折事故の多さに懸念を示し、科学的な介護の必要性があります。厳しい介護環境の中で頑張っている職員への感謝と激励します。

事務局（船江部長）

第三者委員会の報告事項を施設に掲示し、職員への周知を図ります。新しい取り組みだけでなく、既存の取り組みの改善にも注力します。次年度の委員会でさらなる改善報告ができるよう努めます。